

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、農林水産省)

事業名	災害復旧関係資金利子助成事業（復興関連事業）		担当部局	復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 農林水産省林野庁 林政部 企画課		作成責任者	復興庁参事官 尾関 良夫 企画課長 安東 隆	
事業開始・終了(予定) 年度	平成23年度～未定		担当課室					
会計区分	東日本大震災復興特別会計 一般会計		施策名	⑬林業の持続的かつ健全な発展				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	森林・林業基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	被災した林地・林道・林業施設等を復興するための資金や、被災した林業者に必要な運転資金等について支援措置を講じ、被災地の復興を図る。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	① 災害により被害を受けた林業者等に対する利子助成 被害造林地、林道、林業施設等の復興及び資金繰りの支援のために日本政策金融公庫が融通する造林資金、林道資金、農林漁業施設資金及び農林漁業セーフティネット資金等を借り入れる場合の金利負担に対し、最大2%の利子助成を行う。利子助成は最長15年間実施する。(補助率:定額) ② 無担保・無保証人貸付けとするための出資 被災した林業者等が日本政策金融公庫資金を無担保・無保証人で借り入れることができるよう、日本政策金融公庫に対する出資を行う。 ※平成24年度は、復興庁で一括計上し、農林水産省で執行							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	—	—	—	235(復興庁計上)		
		補正予算	—	—	505(農水省計上)	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計	—	—	505	235			
	執行額	—	—	460				
	執行率(%)	—	—	91%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	民間金融機関の補完を旨とする日本公庫の性格上、貸付実績等を積極的なものとして定量的な目標とすることはなじまないが、計画額(35億円)を目安として、融資の円滑化を目指す。	成果実績		—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	融資件数	活動実績 (当初見込み)	件	—	—	15	—	
				—	—	—	—	
単位当たり コスト	融資に要する事務費＝(0.2百万円/件) ※1件あたりの融資額200百万円		算出根拠	・平成23年度事務費4百万円 ・平成23年度の融資件数15件 ※1件あたりの融資額＝貸付実績/融資件数 200百万円＝30億/15件				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	出資金	148						
	利子助成費	75						
	事務費	12						
	計	235						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・新規事業のため、単位あたりコストを前年と比較することはできない。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・民間金融機関の補完を旨とする日本公庫の性格上、定量的な成果指標を設定することは適当でない。 ・災害関連事業であり、活動実績の達成度を計ることは適当でない。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業は、林業者等の資金借入の円滑化を図るものであり、金融による支援は事業費と比較して少ない予算額で事業を実施することが可能である。 ・東日本大震災により被災した林業者・木材産業者等が資金を円滑に調達できる環境を作る本事業は、早急に行わなければならない緊急性が高い事業である。また、林業・木材産業の再建は、経済復興にも寄与することから投資対効果も見込まれる		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新0051

※平成23年度実績を記入

農林水産省	
10百万円	450百万円

利子助成補助金4百万円

出資金450百万円

【特定】

A. 全国木材協同組合連合会
10百万円 (うち6百万円返還)

C. 日本政策金融公庫
450百万円

- ①利子助成金の支払い(0.02百万円)
②事務費(4百万円)

利子助成金の支払い0.02百万円

14 件/14件

B. 林業者等
0.02百万円

- ①被災林業者等が、日本政策金融公庫等から災害復旧関係資金を借り入れる。

②全国木材協同組合連合会へ利子助成の申請を行い、審査の結果、利子助成金の支払いを受ける。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.全国木材協同組合連合会			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事務費	利子助成対象者の募集、審査、現地確認、事業説明会の開催、普及資料作成等	4			
利子助成金	利子助成	0.02			
計		4	計		0
B.林業者等			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
利子助成金	利払	0.02			
計		0.02	計		0
C.日本政策金融公庫			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
出資金	無担保・無保証人貸付	450			
計		450	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.全国木材協同組合連合会

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国木材協同組合連合会	事業の周知、利子助成対象者の募集・審査・現地確認、利子助成金の支払	4	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.林業者等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	林業者A	公庫資金等を借り入れ、災害復旧を行う。	0.009		
2	林業者B		0.004		
3	林業者C		0.002		
4	林業者D		0.001		
5	林業者E		0		
6	林業者F		0		
7	林業者G		0		
8	林業者H		0		
9	林業者I		0		
10	林業者J		0		

C.日本政策金融公庫

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本政策金融公庫	無担保・無保証人貸付の実施	450	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					